

## 運転保守状況（備考欄）

### 2号機

#### ●原子炉格納容器漏えい率検査の延期について

11月17日、第16回定期検査中の島根原子力発電所2号機（沸騰水型：定格電気出力82万キロワット）において、「原子炉格納容器漏えい率検査（定期事業者検査）（※1）」準備のため、原子炉格納容器上蓋部の漏えい率測定を実施したところ、判定基準を満足しないことが確認された。

当該事象の原因を調査したところ、原子炉格納容器上蓋接合部に錆び状の付着物が確認されたため、この錆び状の付着物により気密性が低下したことによるものと判断。

このため、確認された錆び状の付着物の除去を行ったうえで、新しい角型パッキンに取替え、原子炉格納容器上蓋部の漏えい率測定を実施した結果、11月21日、判定基準を満足することを確認した。

なお、延期していた「原子炉格納容器漏えい率検査」は11月25日に受検する予定であり、発電再開は12月上旬を予定。  
(中国電力(株)公表済)

#### (※1) 原子炉格納容器漏えい率検査

定期事業者検査の一つで、原子炉格納容器が必要な気密性を有しているか確認するための検査（原子炉格納容器全体漏えい率測定）

#### ●第15回定期事業者検査（総合負荷性能検査）記録用紙の誤記について

12月28日に実施する予定の島根原子力発電所2号機 第16回定期事業者検査（総合負荷性能検査（※2））に向けた準備をしていたところ、記録用紙の測定項目の制限値（※3）を記載した欄に4箇所の誤記が見つかった。

念のため、前回の第15回定期事業者検査を確認したところ、同じ箇所に誤記があることが判明したため、不適合管理を行い、再発防止を図る。

なお、過去の検査に誤記のあった項目の測定値は、全て通常運転の目標値の範囲内であり、いずれも正しい制限値を下回る値であったため、当該検査の合否判定には影響しないことを確認している。

また、第16回定期事業者検査の記録用紙は修正し、正しいもので検査を実施する。  
(中国電力(株)公表済)

#### (※2) 総合負荷性能検査

定期検査期間中の最終検査であり、定格熱出力運転状態で各部の温度、圧力、流量等のデータを記録し、プラント全体が正常な機能を有することを確認する。

#### (※3) 制限値

本検査における判定値として用いる保安規定値、警報設定値等。今回は警報設定値の記載に一部誤記があった。

その後さらに精査していたところ、第15回定期事業者検査（総合負荷性能検査）の測定項目の制限値を記載した欄に新たに1項目に誤記が見つかった。

新たに見つかった項目の測定値についても、全て通常運転の目標値の範囲内であり、いずれも正しい制限値を下回る値であったため、当該検査の合否判定には影響しないことを確認している。

引き続き調査を継続し、誤記のないことを確認していく。

なお、第16回定期事業者検査の記録用紙は修正し、正しいもので検査を実施する。  
(中国電力(株)公表済)